

ようこそ 図書館へ

第29号

2021年4月

津市図書館

主な内容

P1・・・安心して図書館をご利用いただけるように

P2・・・調査研究のために

P3・・・知ろう私たちの郷土

P4・・・レファレンス事例集、おすすめの本

安心して図書館をご利用いただけるように

コロナ禍において、図書館でクラスターが発生しないためには、「三密」を徹底的に避ける、「人と人との距離の確保」「マスクの着用」「手洗いなどの衛生環境」などの基本的な感染対策が大前提です。この大前提のもと、皆さんに安全に、安心して図書館をご利用いただけるよう、次のような対策と皆さんへのご協力をお願いをしています。



換気・空気の循環

空気が入れ替わったり循環したりすることで飛沫感染を防止できるよう、各図書館の施設の状況に応じて、空調や窓の開放による換気や空気の循環を行っています。

開架スペースの対応



カウンターには飛沫防止シートがあり、適時、消毒しています。ソーシャルディスタンスのために席は間隔を取っています。

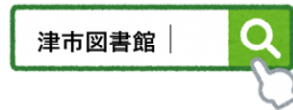


書籍消毒機

皆さんが図書館の本を安心して利用していただけるよう、書籍消毒機を設置しました。簡単な操作で消毒ができますので、本を閲覧する際や借りる際にぜひご活用ください。

Webサービス

津市図書館ホームページでWebサービスを使うと、来館せずに事前に本の検索や予約ができます。長時間の滞在を避けることができます。



調査・研究のために

新型コロナウイルス感染症などの情報については、まず、三重県や津市など公的な発表を参照していただくようお願いします。それに加えて、ご自身でさまざまな情報から調査・研究をされたい方や本からも知りたい方は、図書館もぜひご活用ください。

資料の充実

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に関係する本を充実させました。一部の本を紹介します。

- ・ 「コロナ後の世界を生きる」村上陽一郎/編 岩波書店
- ・ 「コロナ大不況後、日本は必ず復活する」高橋洋一/著 宝島社
- ・ 「コロナウイルスの終息とは、撲滅ではなく共存」池上彰/著 SBクリエイティブ
- ・ 「新型コロナウイルス対策 手作りマスク Book」国際情報研究会/編 ゴマブックス
- ・ 「感染症対人類の世界史」池上彰/著 増田ユリヤ/著 ポプラ社
- ・ 「うっかりやっちゃいがちな新型コロナ感染対策の間違い15」矢野邦夫/著 ヴァンメディカル
- ・ 「新型コロナに立ち向かう100の技術」日経BP
- ・ 「感染症ってなんだろう」岡田晴恵/著 岩崎書店
- ・ 「コロナの時代を生きるためのファクトチェック」立石陽一郎/著 講談社
- ・ 「こいぬのルナ、コロナウイルスにたちむかう」アダムM. ウォレス/作 子どもの未来社

※各館ごとに所蔵状況は異なります。所蔵状況については、上記Webサービスで本を検索して確認ができ、予約もできません。電話で所蔵状況の案内も行います。

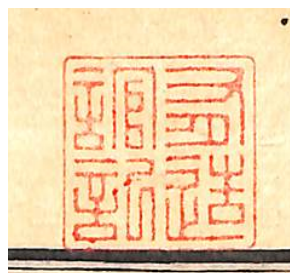
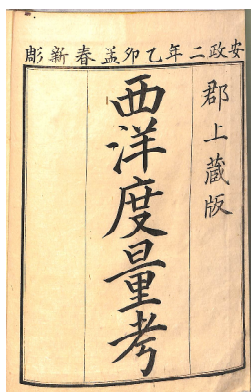
また、新聞や雑誌も一定期間保存していますので、これまでの報道についても、ご覧いただけます。



「有造館文庫」の資料紹介—海外の度量衡単位をまとめた『西洋度量考』— 川上裕子

つぼ ちょう たん しゃく ぶ すん ごう しょう(ます) かん
坪・町・反・尺・歩・寸・合・升・貫
…。これらは、古代から使用されていた度量衡の単位である。江戸時代の和算の入門書では、巻頭に基礎知識として載っており、生活の中でも長い間人々に使われてきた。現在でも「一坪」や「一升」のように使うこともあるが、一般にはメートル (m) や平方メートル (m²)、グラム (g)、リットル (ℓ) などの国際規格が使われることが多い。

実は幕末の安政 2(1855)年に、当時海外で使われていた単位をまとめた資料が出版されている。それは『西洋度量考』(有 3545/609)という資料である(写真)。序文の上部に「有造館記」の印記があるように、津藩の藩校「有造館」の蔵書であり、現在は「有造館文庫」の資料として津図書館に所蔵されている。



左:『西洋度量考』見返し
右:「有造館記」の印記

この資料の著者の青山幸哉^{ゆきちか(しげ)とも}は、足立栄建から蘭学を学んだ人物である。美濃郡上藩主であり、メートル法を研究するなど学者でもあった。

序文によると、元々『度量考』という著者不明の書物があったが、昔の制度のままであったので現在(安政頃のこと)の制度の事も増補しまとめたとある。

内容について見てみると、度量衡や貨幣に関する単語(単位)をAからZまでのアルファベット順にまとめている。単語は全部筆記体で書かれており、その右側にカタカナで読み方を、下には解説(日本での単位や数量、どの国で使わ

れているか、各国での呼び方など)を、そしてその単語がどの分野で使われるものかを「㊦」や「㊧」、「㊨」のように表している。

例えば、左の写真は「ポンド(₤)」について記した部分である。解説には、「原(原本である『度量考』のこと)に云う、銀四銭」とある。「㊦」とあるので、これは貨幣の単位ということも分かる。また、量を表す「ポンド」についてはこの前部分に記述があり、そこには「九十八銭四分」の重さであると説明がある。

他にも「トン(t)」など、現在も使われているものを含め数多くの単位が載っている。

この資料から、当時の海外の度量衡の単位と日本の単位について知ることが出来る。

さて、「有造館文庫」には、今回紹介した『西洋度量考』以外にも、『算法地方指南』(有 1277/L419)や『測量稿』(有 3549/L512)、『算法地方大成』(有 1294~1298/611.1)という資料がある。このうち、『算法地方指南』と『測量稿』は津藩士で測量家として有名な村田佐十郎恒光の著書である。これらの資料も、『西洋度量考』とともに当時の測量や度量衡に関する資料として注目される。

参考文献

梅原三千・西田重嗣著『津市史』第三卷(津市 昭和 36 年)、市古貞次〔他〕編『国書人名辞典』第一卷(岩波書店 平成 5 年)、日本国語大辞典第二版編集委員会小学館国語辞典編集部『日本国語大辞典第二版』第五卷(小学館 平成 13 年)、『有造館文庫目録』(津市図書館 平成 16 年)、阿部猛著『度量衡の事典』(同成社 平成 18 年) 他

レファレンス事例集

Q. うなぎの生態について知りたい。

A. 調査した資料によると、うなぎは海と淡水の間を回遊します。深海で生まれ、河口へ移動して川や池で成長したあと、産卵のため再び海へくぐります。進化については、うなぎの祖先は深海魚であることの解説がありました。

以下の資料を調査しました。『原色細密生体図鑑 世界の動物 2 魚 (I)』『魚紳士録 下巻』、『世界で一番詳しいウナギの話』、『日本ウナギ検定』、『うなぎ1億年の謎を追う』、『うなぎの謎を追って』

～図書館員のおすすめの本～

「さいはての彼女」 原田マハ/著 角川書店

沖縄で最高に優雅なサマーヴァカンスをするはずが、たどり着いたのは思いもよらない最果ての地。平成29年に津図書館で講演をされたこともある人気作家、原田マハさんの旅をテーマにした短編集です。こちらの本の読書の旅から帰ってきた後は、想像以上のリフレッシュな感動があります。たくさんの地名が登場しますので、ぜひ三重県の地名を見つけてください。

「るるぶ楽しく折って親子で世界一周！旅の折り紙100」 新宮文明/著 JTBパブリッシング

おりがみを折って、旅に出よう！家に居ながら日本旅行と世界一周ができるおりがみの本です。誰もが知っている観光名所に加えて、旅先で出会える動物やおいしい食べ物の折り方が載っています。物知りクイズや地理の情報が付いているので親子で楽しみながら学ぶことができます。眺めるだけでもわくわくする、おうち時間を過ごすのにぴったりの一冊です。こちらにも三重県の観光地が紹介されています。

開館時間・休館日などのご案内

館(室)名及び所在地	開館時間	館(室)名及び所在地	開館時間
津図書館 ☎229-3321 西丸之内23-1 津リージョンプラザ内	平日/9:00~19:00 土・日曜、祝・休日 /9:00~17:00	安濃図書館 ☎268-5822 安濃町東観音町418 津市サンヒルズ安濃内	10:00~18:00
久居ふるさと文学館 ☎254-0011 久居東鷹跡町2-3	平日/9:00~18:00 土・日曜、祝・休日 /9:00~17:00	きらめき図書館 ☎292-4191 香良洲町2167 津市サンデルタ香良洲内	9:00~17:00 (7・8月の平日は 18:00まで)
ポルタひさい ふれあい図書室 ☎254-0464 久居新町3006 ポルタひさいふれあいセンター内	平日/10:00~21:00 土・日曜、祝・休日 /10:00~18:00	一志図書館 ☎295-0116 一志町井関1792 津市とことめの里一志内	10:00~18:00 (7・8月の平日は 19:00まで)
河芸図書館 ☎245-5300 河芸町浜田782	10:00~18:00	うぐいす図書館 ☎262-5000 白山町二本木1139-2 津市白山総合文化センター内	平日/10:00~18:00 土・日曜、祝・休日 /9:00~17:00
芸濃図書館 ☎265-6004 芸濃町棕本6824 津市芸濃総合文化センター内	9:00~17:00	美杉図書室 ☎272-8092 美杉町八知5580-2 津市美杉総合文化センター内	9:00~17:00
美里図書館 ☎279-8122 美里町三郷51-3 津市美里文化センター内	9:00~17:00	休館日(全館共通) 火曜日・毎月最終木曜日(館内整理日) 年末年始(12月28日~1月4日)	

※ 特別整理期間(年1回、14日以内)などで、臨時に休館することがあります。

詳しくは、図書館カレンダー、津市図書館ホームページなどをご覧ください。

津市図書館ホームページ及び携帯版ホームページ <https://www.library.city.tsu.mie.jp/>



ようこそ図書館へ 第29号

本の返却は期限内に

発行日 令和3年4月1日 編集及び発行/津市教育委員会事務局津図書館

三重県津市西丸之内23番1号津リージョンプラザ内 ☎(059)229-3321